

We modulate your business to success!

modulat

第14期(2013年03月期) 第2四半期決算説明会

2012/11/19

modulat

モジュール株式会社 (JASDAQグロース : 3043)

<http://www.modulat.com/>

目次

◇ 2013年03月期・第2四半期の総括	・・・	3p
◇ 2013年03月期の見通し	・・・	4p
◇ 財務諸表：損益計算書	・・・	5p
◇ 財務諸表：貸借対照表	・・・	6p
◇ 財務諸表：キャッシュフロー計算書	・・・	7p
◇ 売上高の推移	・・・	8p
◇ 売上総損益の推移	・・・	9p
◇ 営業損益の推移	・・・	10p
◇ 経常損益の推移	・・・	11p
◇ 当期純損益の推移	・・・	12p
◇ その他指標の推移	・・・	13p
◇ 中期経営計画(2012年5月16日公表)	・・・	14p
◇ 中期経営計画の現況	・・・	15p
◇ 中期経営計画 個別サービスの進捗と計画	・・・	16p
◇ お問い合わせ	・・・	17p

2013年03月期・第2四半期の総括

堅実に実績を積み重ね、規模拡大に向かう

- ・新規顧客の増加、大手2社の収益化等、堅実な収益基盤をより強化。
- ・新サービス等への投資を増加。(売上・売上総利益も増加)早期収益化へ。
- ・若年層の積極採用により増員及び組織の若返りを図る。

ITサービスは順調、継続サービス契約額も増加

- ・継続的ITサービスへの集中により、ITサービスは前年同期比で売上高6.8%増。
- ・ITサービスの構成比は、売上高で約76%、売上総利益で約86%と順調に推移。
- ・年間継続契約額は着実に増加。

経営体制・財務基盤の更なる強化、復配、上場維持

- ・社外取締役過半数、執行層集団決議体制などを実施済み。上場企業の責任を果たす。
- ・役員貸付金の解消。期末予想は据置くが、財務体質を改善して復配の計画。
- ・10月下旬より、JASDAQによる内部管理体制についての審査が開始。

2013年03月期の見通し

堅実な収益構造を維持しつつ、回復期を終え、規模的成長を開始

- ・堅実な収益基盤をより強化し続ける。更に将来の事業拡大を目指す。
- ・新サービス等への投資～早期収益化を含め、事業計画必達以上へ。
- ・今後10年を見据えた事業形態、組織・人材育成などを開始。

継続ITサービスは「自動化」+「ソフト」「セキュリティ」「スマートフォン」

- ・継続ITサービスは長期化、安定化、大型化を加速、自動化ソフト内製で効率化へ。
- ・お客様企業が今後求める新しいITサービスの展開期へ。
- ・「中小企業向けワンストップサービス」も再検討～投資再開。(来期始動見込み)

経営体制の強化で、組織運営強化と業績寄与へ、そして復配に向け

- ・管理体制強化に続き、再度経営体制を強化、特注指定の解除に取り組む。
- ・属人性を排除し組織運営を強め、同体制による業績寄与を目指す。
- ・財務強化を継続し、復配可能水準(復配)に向けた取り組みを行う。

財務諸表：損益計算書

第2四半期累計期間

	11/09期		12/09期	
	実績	対前年比	実績	対前年比
売上高	668	114.9%	744	111.3%
ITサービス	532	126.9%	569	106.8%
商品	135	83.8%	175	129.3%
売上総利益	188	121.2%	193	102.5%
ITサービス	165	126.5%	166	100.5%
商品	22	96.7%	26	117.5%
販管費	125	103.2%	180	143.4%
営業損益	62	185.9%	13	21.0%
経常損益	62	169.7%	80	128.6%
当期純損益	61	167.5%	70	113.7%

通期

(百万円)

12/03期		13/03期	
実績	対前年比	予測	対前年比
1,511	121.9%	1,568	103.8%
1040	121.2%	1,207	116.1%
470	123.4%	361	76.8%
374	118.6%	480	128.3%
317	122.4%	444	140.1%
57	103.6%	35	61.4%
288	116.4%	378	131.3%
85	126.6%	101	118.2%
88	122.6%	104	118.1%
72	111.4%	60	82.4%

- ◆ 継続ITサービスが計画を上回り順調に推移。人的投資と本社移転により費用増。
- ◆ 費用増により営業損益は減少だが、売上・売上総利益共に対前年増加。
- ◆ 役員貸付金の回収に伴う貸倒引当金戻入により経常利益及び純利益増加。

財務諸表：貸借対照表

	12/03期		12/09期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	452	36.4	468	37.5
現預金	80	6.5	120	9.6
売掛金	215	17.4	110	8.9
たな卸資産*	94	7.6	148	11.9
その他	61	4.9	89	7.2
固定資産	789	63.6	779	62.5
有形固定資産	434	35.0	404	32.4
(減価償却累計額)	-373	—	-409	—
無形固定資産	77	6.2	82	6.6
投資その他の資産	277	22.4	292	23.5
総資産	1,241	100.0	1,248	100.0

(百万円)

	12/03期		12/09期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	716	57.7	714	57.2
買掛金	182	14.7	97	7.8
1年内返予長借	265	21.4	271	21.7
前受金	165	13.3	288	23.1
その他	102	8.3	56	4.6
固定負債	238	19.2	176	14.1
負債合計	955	76.9	890	71.4
純資産	286	23.1	357	28.6
資本金・資本剰余金	408	32.9	285	22.9
利益剰余金 他	-121	-9.8	72	5.8
負債純資産 合計	1,241	100.0	1,248	100.0

*たな卸資産には、リース投資資産を含む。

- ◆ 減価償却により固定資産が減少、現預金及び商品の増加により流動資産が増加。
- ◆ 前受金の増加等あるものの、買掛金の減少と借入金の返済により負債は減少。
- ◆ 繰越利益剰余金の欠損填補及び純利益の計上により、純資産・利益剰余金が増加。

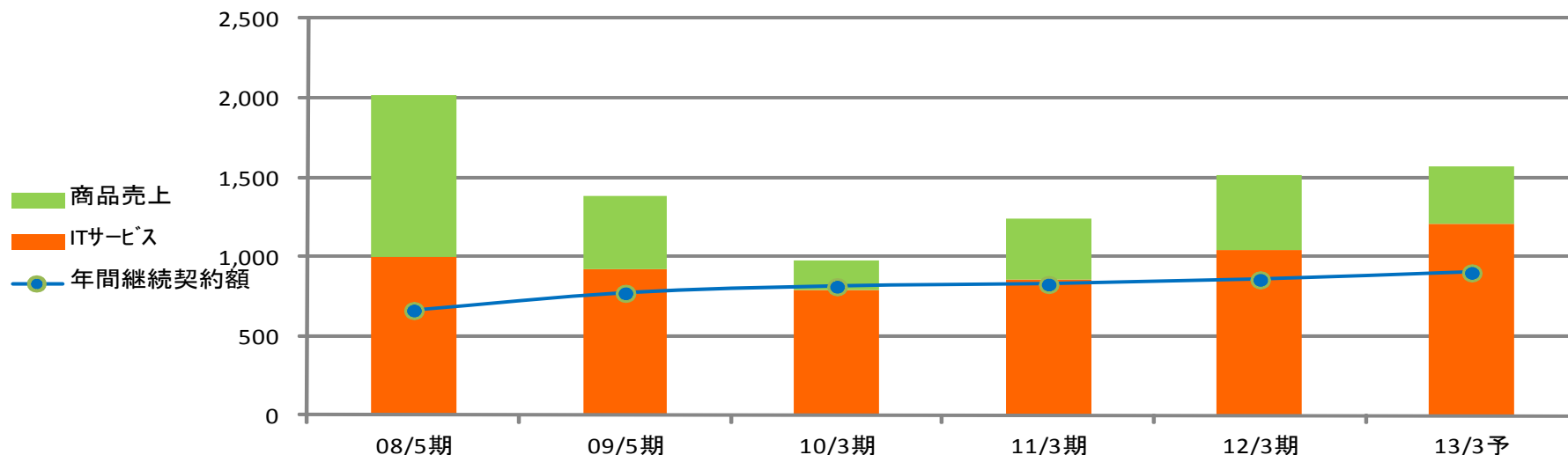
財務諸表：キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

区 分	(百万円)	
	11/09期	12/09期
営業キャッシュ・フロー	147	33
投資キャッシュ・フロー	△ 29	64
財務キャッシュ・フロー	△ 19	△ 58
現金及び現金同等物の増減額	98	39
現金及び現金同等物の期末残高	148	120

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 税引前四半期純利益の計上、前受金の増加等により獲得。
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 貸付金の回収による収入により獲得。
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 長期借入金の返済による支出等により使用。

売上高の推移



(百万円)

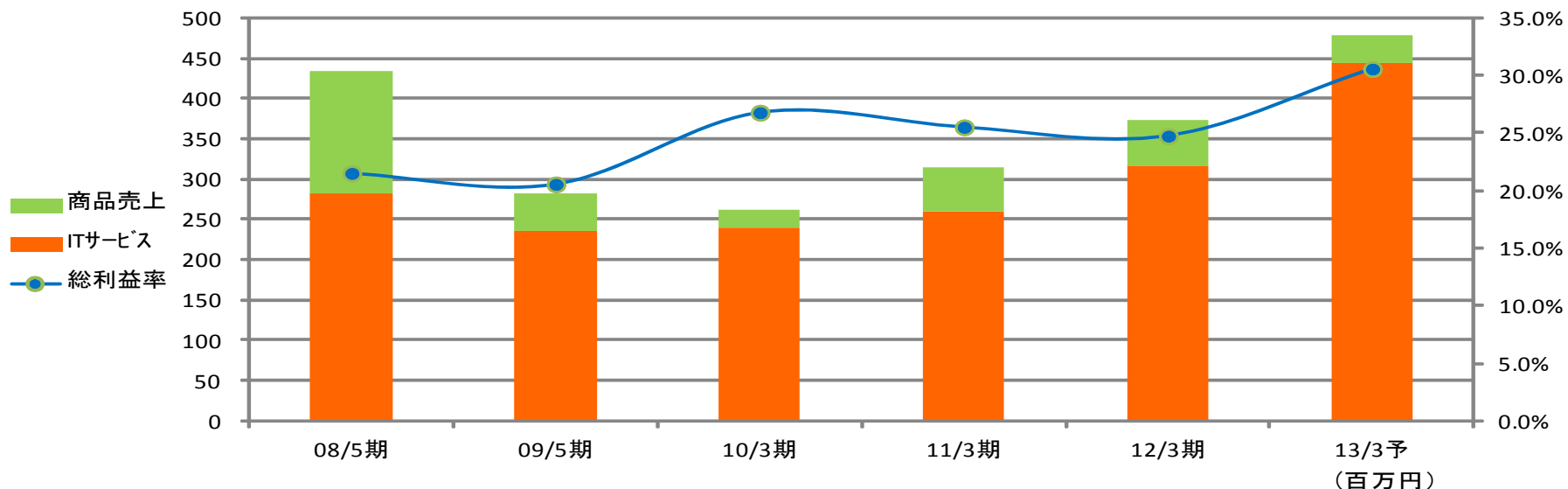
合計	2,017	1,381	978	1,239	1,511	1,568
	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3予
ITサービス	1,003	917	785	858	1,040	1,207
商品売上	1,013	463	192	381	470	361

年間継続契約額 663 771 813 827 856 900

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ ITサービスは着実に増加計画。継続ITサービスが堅調に増加し、ITサービスの売上増に貢献。商品売上は、景気の不透明さを見込み、若干低調に推移する予測。
- ◆ 2Q実績(744百万円)は、期末予測に対し47.5%の進捗率。

売上総損益の推移



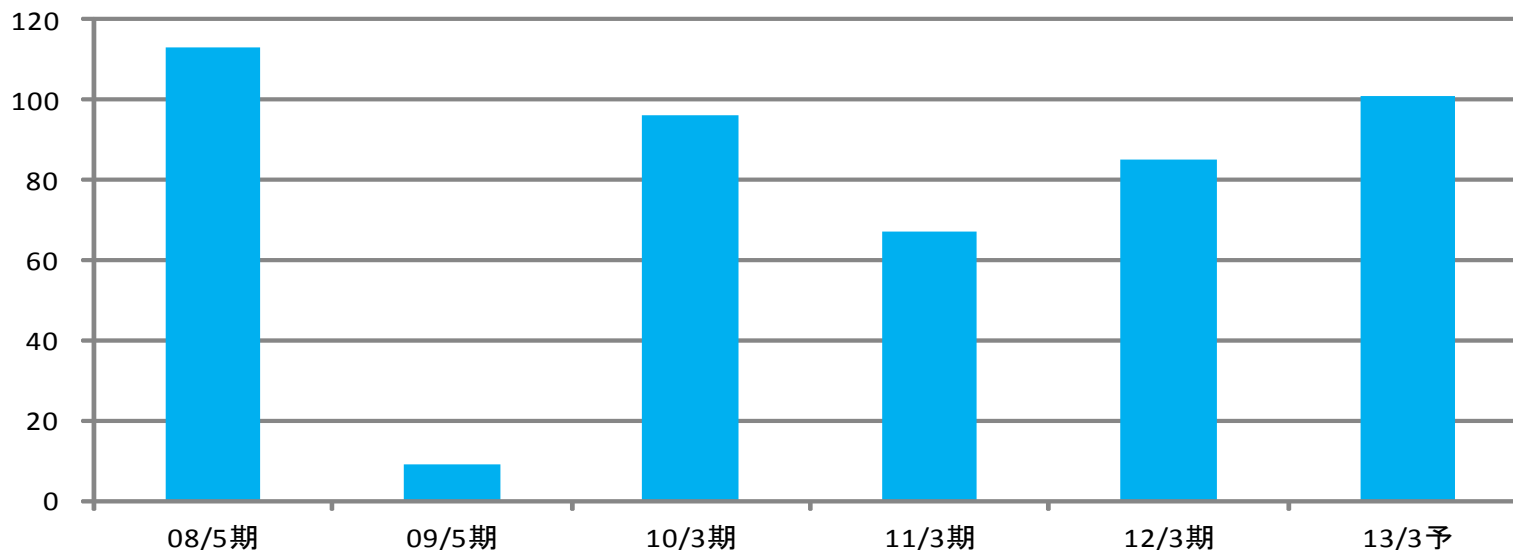
合計	434	284	262	315	374	480
	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3予
ITサービス	283	235	239	259	317	444
商品売上	151	48	23	55	57	35
総利益率	21.5%	20.6%	26.8%	25.5%	24.8%	30.6%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ ITサービスは順調に増加計画。総利益率も適正水準を維持。
- ◆ 総利益全体に占めるITサービスの比率が更に向上。
- ◆ 2Q実績(193百万円)は、期末予測に対し40.2%の進捗率。

営業損益の推移



(百万円)

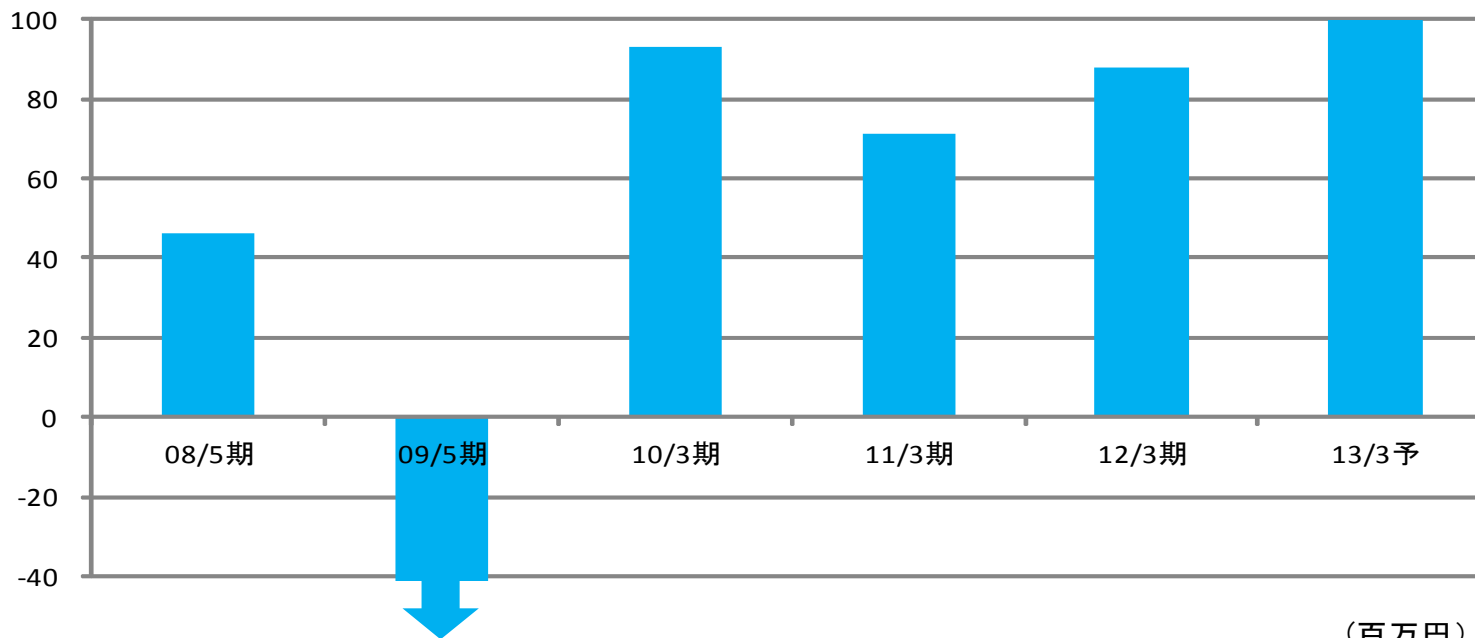
	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3予
営業損益	113	9	96	67	85	101
営業利益率	5.6%	0.7%	9.8%	5.5%	5.7%	6.5%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 収益構造の改善を継続し、利益率の向上を図る。
- ◆ 2Q実績(13百万円)は期末予測に対し13.0%の進捗率。
人的投資と本社移転による費用増のためだが、一時的な増加で計画の範囲内。

経常損益の推移



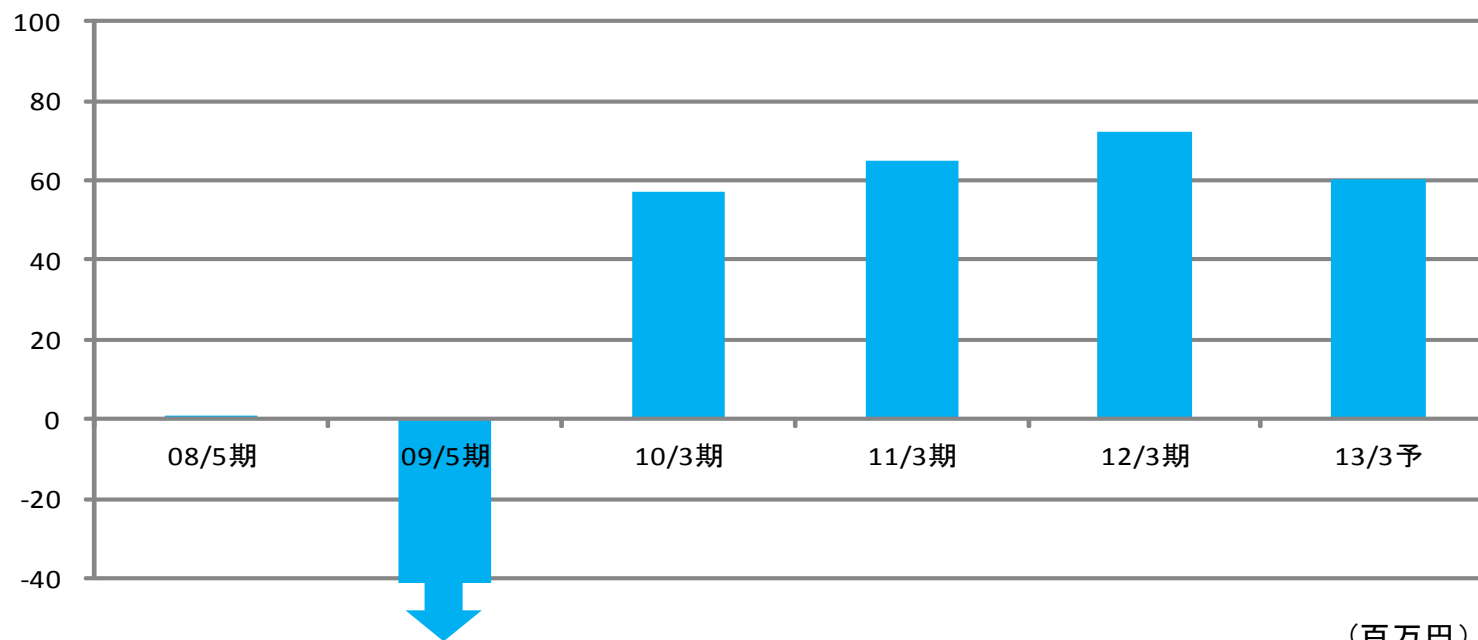
	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3予
経常損益	46	-241	93	71	88	104
経常利益率	2.3%	-17.5%	9.5%	5.8%	5.8%	6.6%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 着実に段階利益を計上し、1億円越えを予測。
- ◆ 役員貸付金の回収に伴う貸倒引当金戻入により増加。
- ◆ 2Q実績(80百万円)は期末予測に対し77.8%の進捗率。

当期純損益の推移



	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3予
当期純損益	1	-459	57	65	72	60
純利益率	0.1%	—	5.9%	5.3%	4.8%	3.8%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 繰越欠損金の解消による税負担増を見込み、純利益減の予測。
- ◆ 2Q実績(70百万円)は、期末予測に対し117.0%の進捗率。
- ◆ 下半期の業績は未確定な要素が多く、通期予想は5/9公表時から変更なし。

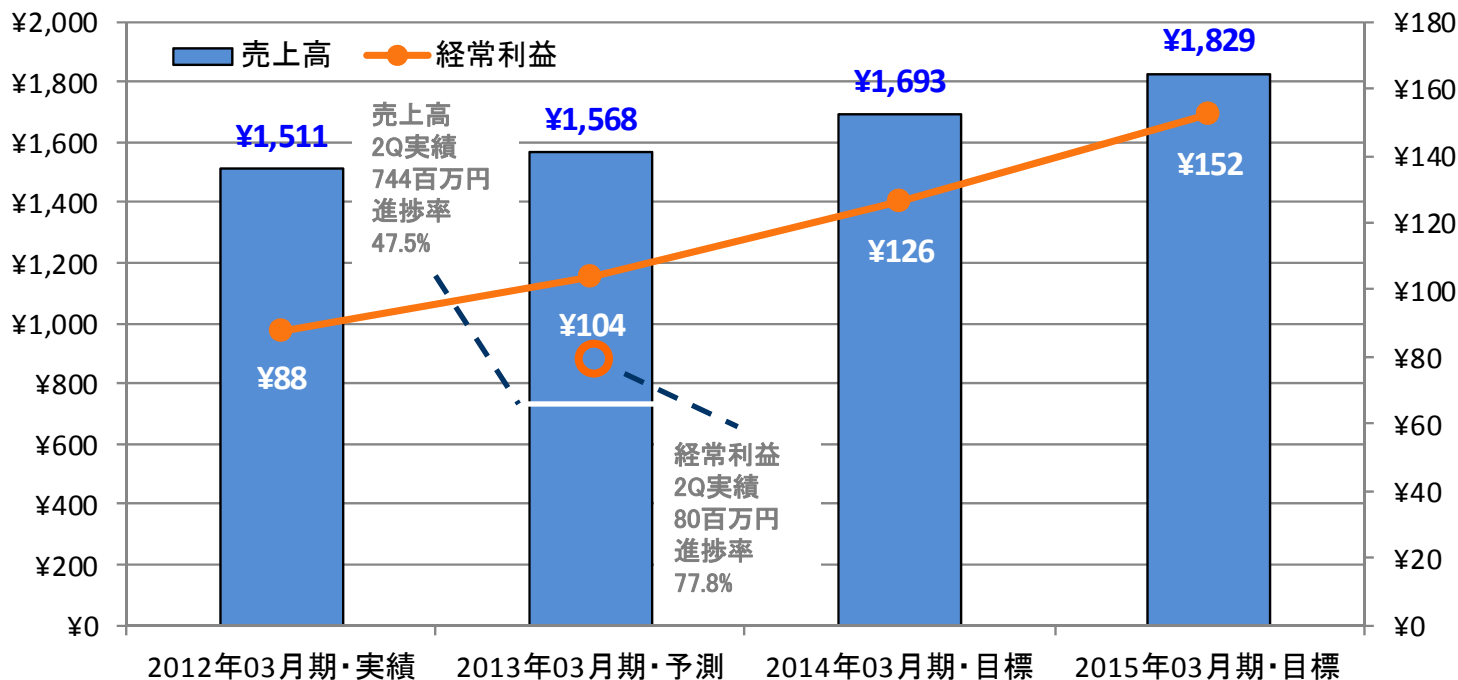
その他指標の推移

	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	12/9期	13/3予
顧客数(社)	28	35	51	69	69	67	56	68	72	72
対前年	0.0%	25.0%	45.7%	35.3%	0.0%	-2.9%	-16.4%	21.4%	5.9%	5.9%
年間継続 契約額(百万円)	258	343	558	663	771	813	827	856	883	900
対前年	18.9%	32.9%	62.7%	18.8%	16.3%	5.4%	1.7%	3.5%	3.2%	5.1%
社員数(人)	32	36	52	50	41	41	39	56	59	65
対前年	6.7%	12.5%	44.4%	-3.8%	-18.0%	0.0%	-4.9%	43.6%	5.4%	16.1%
経常利益率	2.6%	5.5%	6.2%	2.3%	-17.5%	9.5%	5.8%	5.8%	10.9%	6.6%
EPS(円)	2,720.13	6,853.98	5,970.68	84.99	-33,552.62	4,191.93	4,782.24	5,328.33	5,134.67	4,390.36
配当性向	20.0%	16.4%	24.8%	—	—	—	—	—	—	25.0%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

- ◆ “顧客数”は、新規顧客を獲得して4社純増。そのうち、継続契約ありの顧客は2社純増。
- ◆ “年間継続契約額”は、44百万の純増を予測。(内、2Q迄で27百万を獲得済み)
- ◆ 社員数は、エンジニアの増員により増加。エージェントとエンジニアチームの増員を予定。
- ◆ 経常利益率の上昇は、貸付金の貸倒引当金戻入による。継続的に収益性改善を続ける。
- ◆ 13/3期より復配の予定。(9/19リリース済。1株当たり1,097円の配当予想。)

中期経営計画(2012年5月16日公表)



(単位:百万円)

	2012年03月期・実績	2013年03月期・予測	2014年03月期・目標	2015年03月期・目標
売上高	¥1,511	¥1,568	¥1,693	¥1,829
経常利益	¥88	¥104	¥126	¥152

- ◆ 順調に推移している「企業向けの継続ITサービス」を中心に、引き続き、新サービス等にも注力、及び更なる経営体制の強化を力に変え、今後も力強く堅実な成長を計画しております。

中期経営計画の現況

フォーカスエリア	当事業年度に 実施予定の施策
現事業領域 (オーダーメイド型サービス等)	過去の実績をベースに堅実にサービス契約の増加を目指す
現事業領域の周辺 (ソフトウェア開発等)	新サービスを展開
現事業領域の深化 (ITセキュリティ関連等)	1つの新サービスを立上げ (企業向けITセキュリティ)
現事業領域の進化 (スマートフォン/新デバイス等)	次期の展開に備え営業開始 (アプリを数本リリース)
現事業領域の拡大 (標準化パッケージ等)	景況／震災により中小企業 マーケット展開待ち



現況
順調に推移しており、ITサービス売上は前期2Qに対し6.8%増。
専門部隊の立ち上げ及び受注見込みは順調。来期より業績に寄与。
いくつかの提携を通じサービスの拡充を図りつつある。情報漏えい対策案件も受注済み。業務提携により、更に受注拡大を目指す。
「企業向けスマートフォン・アプリ」を3種類リリース。企業のITインフラとして研究及び販促を続ける。
景況／震災により中小企業マーケットの好転待ち。標準化されたモジュレ・インフラ・モデルを目指す。

中期経営計画 個別サービスの進捗と計画

	2012年03月期・予測	2012年03月期・実績	2013年03月期・予測	2014年03月期・目標	2015年03月期・目標
マーケット環境	震災の影響で マイナス成長	---	微プラス成長	微プラス成長	プラス成長へ
「現在」のサービス (オーダーメイド型サービス等)	堅実に契約の 増加を目指す	○ 純増29百万円/年	堅実に契約の 増加を目指す	新サービスを取込つ 更に安定化・長期化 ・大型化を目指す	本格的シナジーへ (次世代複合 サービス)
「周辺」のサービス (ソフトウェア開発等)	新サービスを展開	◎ 大手2社獲得	成長させながら、 現サービスと融合	本格的シナジーへ (次世代複合 サービス)	
サービスの「深化」 (ITセキュリティ関連等)	1サービスを立上 (情報漏えい防止)	◎ 2ソリューション開始 (情漏防止は次期へ)	2サービス立上 (ITリスク軽減等)		
サービスの「進化」 (スマートフォン/新デバイス等)	準備～営業開始 アプリを数本リリース	△ アプリ3本リリース (実務は提案止り)	準備～営業開始	現サービスと融合 (スマートフォン管理等)	
サービスの「拡大」 (標準化パッケージ等)	中小企業マーケット の回復待ち	---	次期に備え準備	新サービスを リリース	

◆ 仔細は2012年5月16日、弊社発表の「中期経営計画」をご覧ください。

お問い合わせ

【 I R 窓 口 】

ストラテジック プランニング サービス

E - mail : ir@modulat.com

Tel : 03-3454-2061

Fax : 03-3454-2062

<http://www.modulat.com/>



<本資料お取扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。